

「私たちと地球はつながっている」

明道中学校三年 中西 未晶

ある日、いつものように友達と二人で帰る途中、私たちの前を歩いていたら高校生が川に何かゴミのようなものを投げ入れているところを見ました。その川に行ってみるとお菓子の箱とジュースのペットボトルが捨てられているいました。高校生は何もなか、たかのように歩いていて、これまでも道の脇に捨てられていたゴミを見てきたりしたけど、はじめに実際にパイ捨てをする人を近くで見つければ平気でパイ捨てしてしまうんだろう。と腹が立ちました。家に帰ったあと、この疑問とその場で何もできなかつた自分にモヤモヤした気持ちでいました。

その次の日、学校の帰り道で再び川を見に行ってみると、もう昨日のゴミはありませんでした。誰かが拾ってくれたかもしれない。川に流されて海まで行ってしまったかもしれない。地球温暖化とか悪い影響の一部になっているかもしれない。いろいろなことが頭をよぎりました。パイ捨てを見ていたけど何も

できなかつた私は、地球や自然が地球温暖化
などによって傷つかないために自分に何がで
きるか探していました。

その中で私は、私たちのポイ捨てなどの行
動が地球温暖化の進行の一部となり、猛暑や
大雨の異常気象などとして反映されるのでは
ないかと考えました。私たち人間が便利さを
追求して地球温暖化の大きな原因となってい
る二酸化炭素を排出する車や、ストロベリービ
ニール袋などのプラスチック製品を使ったり、

技術はどんどん進化しているけど、同時に地
球温暖化の進行にもつながっているのです。
このことから、逆に私たちが地球にやさし
いことをすれば、地球温暖化の進行を阻止する
一部として反映されるということでもあると
考えました。最近では二酸化炭素を排出しない
電気自動車などもあります。地球にやさしい
ことをすると、言っても、最初は小さなこと
でいいと思います。例えば、無駄なゴミを減
らすために水筒や折りたたみ傘、マイバツク

を持ち歩いたり、エアコンをつけるときも節電モード、エコモードにしたり、身近なところから実践していけば、地球にとってプラスにはなると思っています。私にもできることを見つけて、実際に行動に移すことができて、モヤモヤした気持ちも晴れたような気がしました。

しかし、地球温暖化の進行を阻止することは決して簡単ではありません。これから何十年、何百年と付き合い合っていくものになるかも

しれません。だけど今、地球を守るための方法はたくさんあります。私たちがこの問題を無視してポイ捨てを続ければ、地球だけではなく私たち人間が苦しくなり、傷ついてしまいます。私は、私たちと地球はつながっています。小さいことでも毎日積み重ねていけば、地球と私たちの未来はきっと明るく、いものになると思っています。何もしいことが一番もったいないことです。今、できることから始めてみませんか。